

令和4年度(2022年度)  
障害者虐待対応状況調査結果の詳細

# 養護者による障害者虐待の概要(県内)

## 1 通報者について

### 通報者の内訳 ※重複あり

相談・通報者	件数(割合)
本人	115件(53.2%)
家族・親族	16件(7.4%)
近隣住民・知人	4件(1.9%)
医療機関関係者	3件(1.4%)
相談支援専門員・ 障害者福祉施設従事者等	32件(14.8%)
警察	28件(13.0%)
市町村行政職員	3件(1.4%)
その他(※)	15件(6.9%)

※その他は、匿名、ケアマネージャー、成年後見人等

## 2 被虐待者について

### ①虐待の種類 ※重複あり

類型	件数(割合)
身体的虐待	9件(39.1%)
性的虐待	1件(4.3%)
心理的虐待	4件(17.4%)
放棄・放置(ネグレクト)	0件(0.0%)
経済的虐待	9件(39.1%)

### ②被虐待者の性別

男性 7人(36.8%)  
女性 12人(63.2%)

### ③被虐待者の障がい種別 ※重複あり

障がい種別	人数(割合)
身体障がい	5人(21.7%)
知的障がい	8人(34.8%)
精神障がい(発達障がいを除く)	9人(39.1%)
難病	1人(4.3%)

### ④被虐待者の障害支援区分

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
人数 (割合)	0人 (0.0%)	2人 (10.5%)	2人 (10.5%)	1人 (5.3%)	1人 (5.3%)	1人 (5.3%)	12人 (63.2%)

障害支援区分…障害者に対し必要とされる標準的な支援の度合いを表す区分。

### ⑤被虐待者の年齢

年齢	人数(割合)
～17歳	0人(0.0%)
18歳、19歳	0人(0.0%)
20歳～29歳	7人(36.8%)
30歳～39歳	0人(0.0%)
40歳～49歳	5人(26.3%)
50歳～59歳	4人(21.1%)
60歳～64歳	3人(15.8%)
65歳以上	0人(0.0%)

# 養護者による障害者虐待の概要(県内)

## 3 虐待者について

### ①被虐待者からみた虐待者の続柄

続柄	人数(割合)
父	5人(26.3%)
母	4人(21.1%)
夫	2人(10.5%)
妻	0人(0.0%)
息子、娘	2人(10.5%)
兄弟、姉妹	4人(21.1%)
その他 ※祖父、叔父	2人(10.5%)

### ②虐待者の性別(虐待者の計19人)

男性 15人(78.9%)

女性 4人(21.1%)

### ③虐待者の年齢

年齢	人数(割合)
～17歳	0人(0.0%)
18歳～29歳	1人(5.3%)
30歳～39歳	3人(15.8%)
40歳～49歳	1人(5.3%)
50歳～59歳	5人(26.3%)
60歳～64歳	2人(10.5%)
65歳～74歳	4人(21.1%)
75歳以上	3人(15.8%)

## 4 虐待への対応

### ①分離の有無

	件数(割合)
被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った被虐待者数	4件(21.1%)
被虐待者と虐待者を分離していない被虐待者数 (一度も分離していない被虐待者数)	9件(47.4%)
もともと虐待者とは別居の被虐待者数	5件(26.3%)
その他 ※家族が自発的に分離	1件(5.3%)

### ②分離を行った事例の対応

	件数(割合)
契約による障害福祉サービスの利用	1件(25.0%)
身体障害者福祉法又は知的障害者福祉法に基づくやむを得ない事由による措置	0件(0.0%)
上記以外の方法による一時保護	1件(25.0%)
医療機関への一時入院	2件(50.0%)

### ③分離の有無に関わらず行った対応 ※重複あり

	件数(割合)
養護者に対する助言・指導 (介護負担軽減のための事業に参加した事例を除く)	11件(34.4%)
被虐待者が新たに障害福祉サービスを利用	2件(6.3%)
既に障害福祉サービスを受けているが、サービス等利用計画を見直した	3件(9.4%)
被虐待者が障害福祉サービス以外のサービスを利用	0件(0.0%)
再発防止のための定期的な見守りの実施	13件(40.6%)
その他	3件(9.4%)

# 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

## 1 通報者について

### 通報者の内訳 ※重複あり

	件数(割合)
本人	3件(9.7%)
家族・親族	3件(9.7%)
医療機関関係者	1件(3.2%)
相談支援専門員	2件(6.5%)
当該施設・事業所設置者・管理者・サービス管理責任者等	8件(25.8%)
当該施設・事業所職員	7件(22.6%)
当該施設・事業所元職員	1件(3.2%)
当該施設・事業所利用者	1件(3.2%)
当該市町村行政職員	1件(3.2%)
警察	2件(6.5%)
その他	2件(6.5%)

## 2 虐待の事実が認められた事例

### ①虐待の類型 ※重複あり

類 型	件数(割合)
身体的虐待	6件(42.9%)
性的虐待	2件(14.3%)
心理的虐待	2件(14.3%)
放棄・放置(ネグレクト)	2件(14.3%)
経済的虐待	2件(14.3%)

### ②被虐待者の性別

男性 11人(64.7%)  
女性 6人(35.3%)

### ③被虐待者の障がい種別 ※重複あり

障がい種別	人数(割合)
身体障がい	6人(24.0%)
知的障がい	13人(52.0%)
精神障がい(発達障がいを除く)	3人(12.0%)
不明	3人(12.0%)

### ④被虐待者の障害支援区分

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	不明
人数(割合)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	2人(11.8%)	1人(5.9%)	8人(47.1%)	3人(17.6%)	3人(17.6%)

### ⑤被虐待者の年齢

年 齢	人数(割合)
～17歳	1人(5.9%)
18歳、19歳	1人(5.9%)
20歳～29歳	3人(17.6%)
30歳～39歳	3人(17.6%)
40歳～49歳	0人(0.0%)
50歳～59歳	6人(35.3%)
60歳～64歳	1人(5.9%)
65歳以上	2人(11.8%)

### ⑥虐待のあった施設・事業所の種別

	障害者支援施設	療養介護	生活介護	短期入所	就労継続支援B型	共同生活援助	児童発達支援
件数(割合)	2件(18.2%)	1件(9.1%)	3件(27.3%)	1件(9.1%)	1件(9.1%)	2件(18.2%)	1件(9.1%)

# 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

通報件数

32 件

確認調査

虐待判断件数

11 件

事例	虐待の種類	被虐待者の障がい種別・人数	虐待の内容	虐待があった施設の種別	虐待者の職種	虐待に対して採った措置(県・市町村又は労働局)
1	身体的虐待	知的障がい(1人)	屋外で指示や誘導に応じたくない利用者に対して、職員が臀部を蹴った。	生活介護	サービス管理責任者	施設・事業所等から改善計画の提出
2	身体的虐待	知的障がい(1人)	脱衣室から移動してくれない利用者に対して、職員が腰を蹴った。	生活介護	従事者	施設・事業所等から改善計画の提出
3	性的虐待 心理的虐待	知的障がい、 精神障がい(1人)	職員が利用者に対し、貸金返還要求及び性的行為の強要(未遂)を行った。	共同生活援護	世話人	施設・事業所等に対する指導
4	身体的虐待、 心理的虐待、 放棄、放置 (ネグレクト)	身体障がい、 知的障がい(3人)	職員が利用者に対し、平手で叩く、無理やり食べ物や水分をとらせた、個室に入れるといった行為を行った。	児童発達支援	サービス管理責任者、 管理者	施設・事業所等から改善計画の提出
5	放棄、放置 (ネグレクト)	知的障がい(1人)	職員(不詳)が利用者の居室及びトイレのナースコールにセロテープを貼るなどして、鳴らないようにした。	障害者支援施設	不明	障害者総合支援法に基づく改善勧告

# 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の概要(県内)

事例	虐待の種類	被虐待者の障がい種別・人数	虐待の内容	虐待があった施設の種別	虐待者の職種	虐待に対して採った措置(県・市町村又は労働局)
6	身体的虐待	身体障がい、知的障がい(1人)	職員(不詳)が利用者の上半身に複数個所の骨折などを生じさせた。	障害者支援施設	不明	障害者総合支援法に基づく改善勧告
7	身体的虐待	知的障がい(1人)	注意しても他利用者への干渉をやめないため、職員が段ボール板で利用者の頭頂部を叩いた。	生活介護	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
8	性的虐待	身体障がい、知的障がい(1人)	職員が利用者に対し、わいせつな言葉を使う、股間を触るなどの行為を行った。	短期入所	生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
9	身体的虐待	身体障がい(1人)、知的障がい(1人)	職員が利用者の頭やでん部、足を叩いたり、腕を強く引っ張る行為を行った。	療養介護	看護職員、生活支援員	施設・事業所等から改善計画の提出
10	経済的虐待	知的障がい、精神障がい(2人)	職員が利用者の口座から金銭を引き出し、私的に使用した。	共同生活援助	サービス管理責任者	施設・事業所等から改善計画の提出
11	経済的虐待	不明(3人)	職員が利用者の口座から金銭を引き出し、私的に使用した。	就労継続支援B型	職業指導員	施設・事業所等から改善計画の提出